

「国営追悼・祈念施設(仮称)」の設置町については、以下の視点により「浪江町」への設置を国へ要望する。

設置町選定の視点

- 津波被害等が甚大であり、追悼の場として妥当であること。
- 丘陵部の海側に位置し、丘陵部から被災地が一望できる状況にあることから、丘陵部と連携した施設検討が可能となること。
- 双葉・浪江両町連携のもと、「福島県における復興祈念公園のあり方(基本構想への県提言)」にあるとおり、復興祈念公園が双葉・浪江両町における復興の象徴となって、ふくしまの新しい姿やその軌跡を発信することが期待されること。

